

お盆の帰省で 実家のガス設備も チェックしてみませんか？

ホームガス課 東山 晃

お盆は家族や親族が集まり、久しぶりに実家へ帰省される方も多い季節です。普段は離れて暮らしていると、家の様子は気になっても、ガス設備まで意識する機会は少ないのではないのでしょうか。

私たちも日頃、お客様のお宅へ点検や訪問でお伺いしていますが、長期間あまり使用されていない住宅では、思わぬ状態を目にすることがあります。

例えば、屋外に設置されている給湯器です。給湯器に蔦（つた）が絡みついていたり、排気口の周辺に蜘蛛の巣が張っていたりすることは決して珍しくありません。給湯器は燃焼に必要な空気を取り込み、燃焼後の排気を屋外へ排出する機器です。そのため、周囲には物を置かず、植物などで覆われないようにしておくことが大切です。

また、毎日暮らしていると少しずつ変化する庭木や設備の様子には、意外と気付きにくいものです。久しぶりに帰省したご家族だからこそ、「蔦が伸びているね」「給湯器の周りを片付けようか」と気付くこともあります。

久しぶりにガスコンロや給湯器を使用する際は、本体や配管に異常はないか、ガス臭さを感じないかなど、一度周囲を確認してみてください。

近年は、ご両親だけがお住まいのご実家や、年間を通して使用頻度の少ない住宅も増えています。そのようなお宅ではガスの使用量が少なく、LPガス容器が長期間設置されたままになっていることもあります。LPガス容器は法律に基づいて管理されていますが、帰省の際には容器や調整器、配管なども一度見ていただくと安心です。

また、お盆の帰省に合わせて物置や倉庫の片付けをされるご家庭も多いのではないのでしょうか。そんな時、以前使用していた小型のLPガス容器が見つかることがあります。

「どう処分すればいいの？」「まだガスが入っているかもしれない」と、そのまま保管されているケースも少なくありません。

アポロ興産では、このような使われなくなったLPガス容器の回収にも積極的に取り組んでいます。処分方法が分からない場合や、気になること、お困りのことがありましたら、どうぞ気兼ねなくアポロ興産までご連絡ください。

お盆は、ご家族と過ごす大切な時間であると同時に、住まいを見直す良い機会でもあります。今年のお盆は、庭木や給湯器まわり、LPガス容器などにも少し目を向けてみませんか。帰省は、ご家族との再会だけでなく、実家の暮らしを見守る大切な機会でもあります。今年のお盆は、ガス設備にも少し目を向けていただければ幸いです。

私たちはこれからも、皆さまに安心してLPガスをご利用いただけるようお手伝いしてまいります。



千里川土手

ホームガス課
中下 裕司

ホームガス課中下です、いつもガスをご利用頂き誠にありがとうございます。

今回は、大阪豊中市にある有名なスポット千里川土手について書かせていただきます。

大阪国際空港の南端に接する千里川土手で、離着陸の飛行機を真下近くで見ることが出来ます。土手と言っても管理用道路は整備されていますので、小さなお子さんでも安心して飛行機を見て楽しむ事が出来ますよ。

着陸時の飛行機が頭上を通過するため、凄い風圧を体感することができました。プロペラ機もいいですが、やっぱりジャンボ機が頭の真上を通過する音と迫力はたまりませんでした。昼間も綺麗ですが、夜は空港滑走路のライトに照らされ大変綺麗でした。

この日は千里川土手の名物おかんがいて会えることが出来ました。このおかんはスマートフォンやタブレット、無線を使いこなして、訪れる方に機体の種類や飛行機が出発した空港、どの滑走路に到着するなどアナウンスしてくれます。毎回、ホワイトボードに飛行機の着陸時間など事前にアナウンスしてくれるので、大変面白かったですし、詳しく説明もしてくれます。おかんはもう20年近く土手にきて、皆に楽しんでもらうためにボランティアとして活動しているとの事でした。

飛行機マニアの写真家たちがいっぱいで見るとすごい空気感ですが、本当に良かったので興味のある方は是非試してみてください。

